

実践研究ゼミナール

～あなたの実践報告・実践研究をサポートします～

実践研究ゼミナールでは何をするの？

- ・参加者の実践や研究テーマに対して、少人数での演習形式で意見交換や情報提供などを行っています。調査研究部会の委員も参加し、参加者が実践報告・実践研究を発表したり、実践報告・論文としてまとめたりすることをサポートしています（学位取得のサポートを目的としたものではありませんので、学位論文に関する発表はご遠慮ください）。

なぜ実践報告・実践研究をする必要があるの？

- ①社会福祉士として専門性の向上のために、自分の実践を振り返るとともに、よい実践を共有していくことが必要です。
- ②社会福祉士の社会的認知を高めていくために、社会に向けて社会福祉士の実践を積極的に発信していくことが必要です。

どんな人が参加しているの？

- ・日頃の実践を実践報告や論文としてまとめてみたいと思っている人
- ・基礎研修の修了者で学んだことを活かして実践報告・実践研究をまとめてみたいと考えている人
- ・認定社会福祉士を目指している人、あるいは更新を考えている人
- ・その他、実践報告・実践研究に興味がある人であれば、どなたでもご参加いただけます。
※ただし、社会福祉士会の会員に限ります。

いつ開催しているの？

- ・原則として、5月、7月、9月、1月の第3木曜日（19時～20時30分）に開催しています。
- ・次回の開催は下記の通りです。
日 時：2020年 1月16日（木） 19:00～20:30
場 所：四天王寺大学 あべのハルカス サテライトキャンパス（あべのハルカス オフィスフロア階 23階）
定 員：15名
参加費：1回ごとに 500円。資料代等の費用として、当日徴収いたします。おつりがないようにご準備ください。

参加申込みの方法は？

- ・si428@tezukayama-u.ac.jp（担当理事・石田慎二（帝塚山大学））宛 に、①会員番号、②氏名、③支部名、④所属（職場）、⑤電話番号、⑥発表希望の有無をご記入のうえ、1月13日（月）までにお申し込みください。
- ・メールの件名に「1/16 ゼミナール参加」と明記ください。
- ・発表を希望される方は、si428@tezukayama-u.ac.jp（担当理事・石田慎二（帝塚山大学））宛 に事前に資料をお送りください。なお、発表者は、過去に実践研究ゼミナールに参加したことがある人に限定しています。